

5月11日

2012年  
(平成24年)

金曜日  
第17609号(日刊)  
土、日曜・祝日は休刊

Metal & Technology

# 鉄鋼新聞

## 日綜産業

### 3Sシステム・オクタゴン

# 諫早市(長崎県)で大量採用

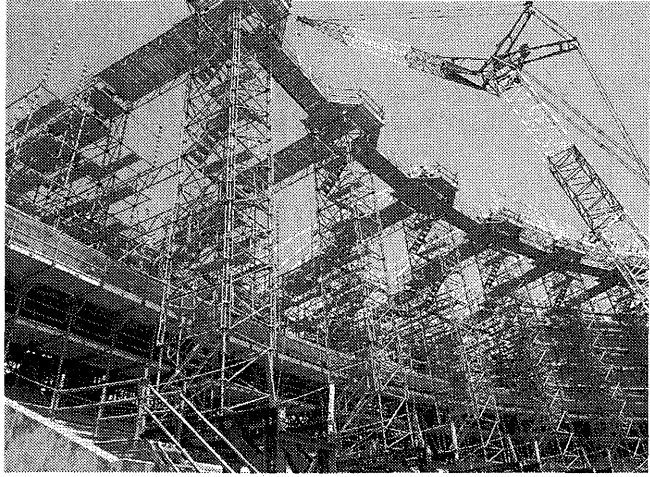
## 陸上競技場向けに1千トン

建設用仮設資材メーカー、日綜産業(本社・東京都)はこのほど、長崎県諫早市で工事が進められている長崎県立総合運動公園新陸上競技場(仮称)新築工事Ⅱ写真Ⅱの現場に、クサビ緊結式システム足場兼支保工「NISS OSシステム・オクタゴンシリーズ」1千トンをはじめ、アルミ合金製可搬通路「フライングブリッジ」、法面用昇降設備「法面2号」など、トータル約1100トンが採用されたことを明らかにした。

九州地区の陸上スタジアムが1千トで使用されたのは初めて。福岡支店では「今回の大量採用を機に、性能をPRして拡販に努めたい」と話している。

仕上げてあるため防錆性に優れているなど、今回の現場には、「法面2号」以外にも「3Sシステム」「フック」「コラムステーション」

のほか、外周部の枠組足場には「セフトパラペッター」「セフトバンパー」「セフトハンダー」が採用されている。約1100トンの仮設資材が採用されている長崎県立総合運動公園新陸上競技場新築工事は、長崎県の発注工事。2年後に開催される長崎国体のメイン会場になる予定で、収容人数は2万人。「競技しやすく、観やすく、活用しやすい施設」を目指しており、陸上スタジアムとしては、地方初の完全2段式スタンドとなる。敷地面積は約10万平方方で、建築面積は約1万5千平方方。構造は鉄骨鉄筋コンクリート造で、地上4階/塔屋1階。鉄骨約1400トン、鉄筋約3千トンが使用されている。工事工期は昨年3月から来年6月末まで。



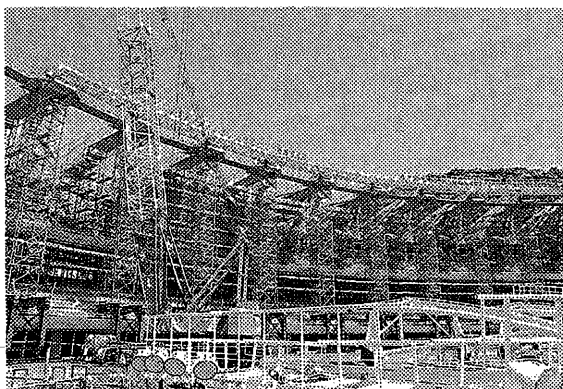
大量に採用された「NISS OSシステム・オクタゴンシリーズ」の特徴は①ワンタッチ式のクサビ式クランプで、足場の組立・解体が早く、しかも簡単②組み立ての際はハンマー以外の特殊工具が不要で、熟練作業者以外も組み立てが可能③解体後、各パーツは最小限の大きさになり、人手による運搬が出来る④ドブめっきで

# 建設通信新聞

発行所 日刊建設通信新聞社  
〒101-0054  
東京都千代田区神田錦町3-13-7  
電話(03)3259-8711  
FAX(03)3259-8730  
振替貯金口座00190-2-97953  
©日刊建設通信新聞社 2012

## 日綜産業の仮設機材 長崎・新陸上競技場に大量採用

2014年長崎国体の主会場となる長崎県立総合運動公園新陸上競技場建設工事に、複雑な形状の構造物に対応できる日綜産業の仮設機材が大量に採用さ



屋根の架設が行われている現場

### 柔軟で安全、高い機能性

オクタゴン フライイングブリッジ

れている。現在は客席の上部に膜屋根を架ける工事が進められており、システム足場支保工の3Sシステムオクタゴンシリーズやフライイングブリッジなどが安全な作業を支えている。

機材の納入は11年7月から始めた。地足場工事でフライイングブリッジ約440台、法面2号約400台、鉄骨建て方の足場では、トビック約1200台、コラムステーシ約140台、N

S工法などが採用された。外周部の枠組足場には、セフトパラペッター、セフトバンパー、セフトハンダーなどの手すり先行工法も多数採用されている。また、第2工区では、上下完



機能性、安全性の高さを評価する  
小松所長(右)と加地工事長

谷川建設・野副建設JVの小松昌所長は、「バリエーションが豊富にあり、スパンを飛ばせるなど柔軟に対応できる。しかも安全性が高い」と採用の理由を説明する。加地明範工事長は、「オクタゴンは土木工事に多く使われているが、今後は建築工事にも多用されるのではないかと」と、その機能性の高さを評価した。同作業所では、4月末現在、延べ16万時間の無事故無災害記録を継続している。

クリート打設用支保工にオクタゴンが約750ト使用された。現在は、スタンドに屋根を架けるための支保工として、全66本中33本の柱にオクタゴンが約200ト使用されており、今後も約100トの使用を予定している。  
第2工区を施工する大林組・

新陸上競技場の規模は、SRC・SRC造4階建て塔屋1層延べ2万9672平方メートル、収容人員約2万人。日本陸連第一種公認で、Jリーグ対応となる。設計は日本設計が担当した。工期は13年6月28日まで。建設地は長崎県諫早市宇都町1。

# 九建日報

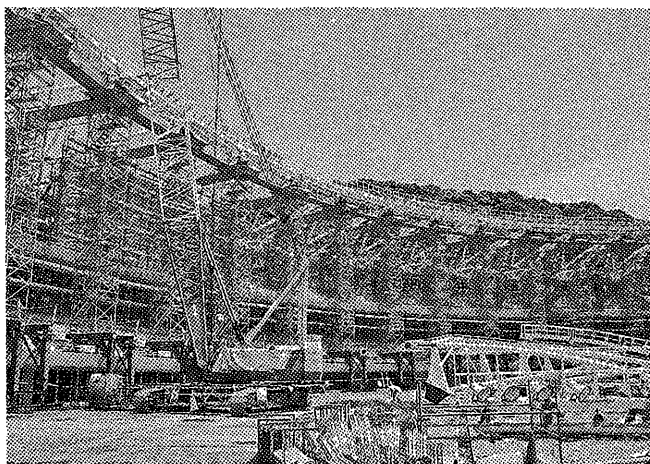
発行所

株式会社 九建日報社

〒812-0018 福岡市博多区住吉5-9-19  
電話 代表 092(431)5361番  
FAX 092(431)7613番  
購読料 1ヵ月6,300円

北九州支局 TEL093(921)5011  
長崎支局 TEL095(827)5595  
熊本支局 TEL096(363)1553  
大分支局 TEL097(594)0518  
宮崎支局 TEL0985(24)6688  
鹿児島支局 TEL099(259)3426  
<http://www.kyuukennippou.co.jp>

## 日綜産業の仮設製品が活躍 長崎県立総合運動公園陸上競技場



【長崎】長崎県が進める「県立総合運動公園陸上競技場(仮称)新築工事(2工区)」。大林組JVが施工するこの現場では、日綜産業(株)の仮設製品が多種類、大量に採用されている。同社は26日、報道機関向けに現場見学会Ⅱ写真Ⅱを開催し、大規模工事を支える自社製品を紹介した。

長崎県は再来年に開催する国体に向け、諫早市の県立総合運動公園内に新競技場を建設している。規模は、下部SRC造・一部RC造、上部SRC造、4階建延べ2万9700㎡。約2万人の観衆を収容する。完全2段式スタンドと全周膜屋根を持つ、自治体所有としては異例の競技場になる。

大林組・谷川建設・野副建設JVが施工する2工区では、バックスタンドと一方のサイドスタンド部を整備する。この現場では日綜産業(株)の仮設製品が多種類かつ大量に採用されている。

地足場工事で使用する可搬式安全通路「フライングブリッジ」220台、ユニバーサルユニット自在階段「法面2号」200台を昨年7月から納入し始めた。

さらに、他工区も合わせてジュラルミン製吊足場「トビック」1200台、コラムステージ140台、梁型枠支保工と足場システムを一体化したNS工法を納入。また、スタンドのコンクリート打設用の支保工で3Sシステムオクタゴンシリーズ750tを納入したのに加え、柱の全周に屋根

を設置する際の支保工のために更に300tを使う。

スタジアム内から見たスタンド工事の様子は壮観だった。2階スタンドを支えるオクタゴンシリーズ、膜屋根取付けのために高所に設置されたフライングブリッジなど、至る所に同社製品が張り巡らされている。完成時には姿を消すこれらの製品が大規模工事を支えていることを実感した。現在の進捗率は68%。工期は来年6月となっている。

大林組JVの小松昌所長は「3Sシステムが我々のニーズに合った」と採用経緯を説明。日綜産業(株)福岡支店の平野重徳支店長は「競技場は複雑な現場。我々の商品で少しでも役に立てれば」と話していた。